

日本共産党

反対

○一般会計、介護保険事業特別会計に反対、他は賛成

▽介護保険料は、平成12年の介護保険制度開始以降、3年ごとの事業計画見直しのたびにほぼ毎回、引き上げられ続けてきました。令和3年度から3年間を対象とした「えびな高齢者プラン21(第8期)」および予算案においても引き上げる内容となっています。この間の消費税増税や家庭系ごみ有料化の実施、さらには、今後の後期高齢者医療費自己負担2倍化などの各種負担増がもくろまれている一方、新型コロナウイルス感染症の影響による収入減少や雇用喪失に直面したり、来年度は4年ぶりに年金支給額が引き下がるなど各種給付減も行われ、市民の家計と生活に大きな影響が生じている状況下においては、介護保険料を引き上げるのではなく、むしろ引き下げを図るべきです。▽家庭系ごみの有料化が令和元年9月から開始されました。さらに消費税増税や新型コロナウイルス感染症による雇用や家計への影響も加わり、市民生活に大きな影響を与え続けている中、有料化を継続することは問題です。▽市立図書館の運営体制は、公立図書館として抱えている基本的・根本的な問題の解決には至っていません。それにもかかわらず、引き続きカルチュア・コンビニエンス・クラブ社を含めた、共同事業体による指定管理者制度を継続することは認められません。▽指定管理者制度、業務委託、民営化を拡大、推進する海老名市は、市立図書館の指定管理者制度だけでなく、市民窓口や福祉窓口、学校や公立保育園の給食調理業務などを、引き続き民間営利企業に委ねる運営を継続しています。また引き続き、指定管理者制度による下今泉保育園の運営や、勝瀬保育園の民営化に向けた準備が進められることも問題です。



市立中央図書館

市政に関する一般質問の概要

3月15日、16日に議員18名が市の考えをたしました。主な質問、答弁の要旨を紹介します。

一般質問では、市議会議員が市長などの執行機関に対して、海老名市の行政事務全般にわたってその執行状況や今後の方針などについて説明を求め、議員の考えを表明するなど、よりよい市政を目指してさまざまな議論が行われています。今回は、市民に身近な問題を中心に、47項目の一般質問がありました。詳しい内容は会議録でご確認ください。



会議録は市役所1階の情報公開コーナー、中央図書館、有馬図書館でご覧いただけるほか、インターネット上で公開しています。

<会議録の閲覧検索> 市のホームページから「海老名市議会」→「会議録検索」

また、一般質問をはじめ、本会議の様子はインターネットで録画配信しています（これは海老名市議会の公式記録ではありません）。

<本会議の録画配信> 市のホームページから「本会議中継」→「本会議ライブ中継」、「委員会中継」もご覧いただけます。



新型コロナウイルス感染症に係る
諸課題について

公明党 戸澤 幸雄

問 新型コロナウイルス感染症に対して、数少ない明るい話題が、日本でも医療従事者の先行接種が始まったワクチン接種です。血液を介して作用するワクチン接種では、免疫機能を利用して重症化を防ぐことはできませんが、感染経路である鼻や喉の粘膜までは届きにくいので、感染予防までは難しいと言われております。しかし、重症化の防止が図れることによって、社会的な不安はある程度払拭することが可能と思われます。そこで、国家的事業となる今回のワクチン接種ですが、海老名市の取り組みについて、現在の考えを伺います。

答（市長）本市では、1月に「新型コロナウイルスワクチン接種準備チーム」を設置し、国の指示、県の調整を受け準備を進めているところです。先日、県から各市への配布分量が示され、4月12日の週と26日の週に一箱ずつ配布されるとのことでありました。少ない量であるため、接種券の発送や接種方法などを医師会と調整し、スケジュールの見直しを行っているところです。

答（保健福祉部長）接種券や予診票などの送付物、集団接種会場の運営方法、またワクチン専用ダイヤルの設置など、国の指示に基づき準備を進めています。接種の方法については、医師会と調整し、基本的には集団接種と個別接種で実施する予定です。また、高齢者施設などによる施設内での集団接種や、独り暮らしの方など、接種会場や医療機関に行くことができない方への対応として、巡回型接種も視野に入れて医師会と調整中です。

ワクチンの配分について、神奈川県は、ワクチンの供給量が限定的であること、また、高齢者施設の入居者はクラスターの危険性が高く、命に関わる重篤な症状になる可能性が高いとの判断から、高齢者施設入居者数割で配分量を決定しました。今後も、市民の皆さまには、最新の情報を提供できるよう努めてまいります。